

三光・泥田バレー有終 今回で幕 88チーム熱戦



泥んこになりながら球を追う選手たち

第25回泥田バレーボール大会が2日、中津市三光の田んぼであった。今回が最後の大会とあって、市内外から88チームが参加し、熱戦を繰り広げた。

雨にも負けず、コスプレ、ちゃんまげ姿の選手も。選手が試合そ

っちのけで転び泥んこになるパフォーマンズを見せると、会場から大きな笑いも起きた。

過去6回の優勝を誇る北九州市小倉北区のG.I.H.A.D代表、岡寛さん(38)は「大会が無くなるのは寂しいが、

これまで楽しませてもらい、たくさんの思い出を作れた。大会関係者に感謝したい」と話した。

旧三光村の地域おこしグループ「竹馬会」が1989年に始めた。老若男女が一緒に遊べる泥んこゲームの

はしりで、TV番組にも取り上げられ、お茶の間に流れたこともあった。しかし会員も高齢化して大会運営も難しくなり、今回で最後となった。

【大瀧実知朗】

記録は次の通り。

【競技】①傾奇者(中津市)②MAX(山口市)③なし(玖珠町)

【仮装】①ちゃんにーず あんど ベトナムーず(福岡県上毛町)②イオンモラー(中津市)・豊陽かな(同)